

第18回全国小学生タグラグビー大会中国ブロック大会について

中国ブロック各県 普及育成委員長 様
タグラグビーご担当 様
代表チーム帯同コーチ 様

大変お世話になっております。

全国的にオミクロン株による新型コロナウイルス感染が広がっており、中国ブロック大会開催地の東広島市も昨夜「まん延防止等重点措置区域」に指定されました。

このことを受けて昨夜ご連絡したとおり、1月16日（日）に東広島市で開催を予定しておりました標記大会は見送らざるを得ない状況になりました。

会場地としていました広島県における「まん延防止等重点措置」の対策期間は1月9日から1月31日です。

加えて、本日1月8日、中国地方知事会から「まん延防止等重点措置区域をはじめとする感染拡大地域への不要不急の移動は控えましょう」というメッセージは発せられました。つまり、少なくとも1月31日までは県をまたぐ往来は自粛すべきということです。

全国決勝大会の開催可否については、日本協会が1月下旬に決定すると伺っています。

全国決勝大会の開催期日は2月12～13日ですので、全国決勝大会が予定どおり開催されるとして、それに向けて中国ブロック予選を開催するとすれば、2月5日（土）または6日（日）に、中国ブロック5県の中のどこかに会場を確保し、そこに各県競技役員及びレフリーにも参集いただき開催するしかありません。

2月5日（土）または6日（日）に開催し、中国地方代表の2チームを決めたとして、翌週12日（土）、13日（日）は東京に行くこととなります。代表チームの児童、保護者、帯同コーチにとって非常に厳しいスケジュールです。また、東京における現在の感染状況はご承知のとおりです。

全国大会を開催するか否かの、日本協会の決定を待って中国ブロック大会について決定しようかと考えていましたが、日本協会の決定がどちらであれ、中国ブロック大会の開催は非常に難しいと言えます。

また、何よりも子どもたちの健康と安全が第一です。現在のオミクロン株による感染拡大が進んでいる状況の中、対策期間が終了したとしても、その直後に5県の子どものを集めて大会を開催することは無謀とも言えると思います。

以上のことから、今年度の中国ブロック大会は中止とし、万一、全国大会が開催された場合は、各県担当者5名の協議により代表チームを決定することとし、協議によっても決まらない場合は抽選によるものとしたと考えます。

この方針について、ご意見等がありましたら、ご返信ください。

よろしく願いいたします。

関西協会普及育成委員会

中国ブロック担当 有馬 章治

携帯：090-8995-5751

E-mail:arima.shoji@city.nagato.lg.jp
